



2022年2月15日

三次市様の新型コロナワクチン接種記録確認業務を RPA・AI-OCR により効率化 ～約 8 割の作業時間削減を実現～

株式会社エネルギア・コミュニケーションズ（略称：エネコム、本社：広島県広島市、取締役社長：渡部 伸夫）は、広島県三次市（市長：福岡 誠志、以下：三次市）様の新型コロナワクチン接種記録確認業務へ、AI-OCR サービス「Seisho^(注1)」と RPA サービス「EneRobo^(注2)」を導入し、紙帳票の読取り・データ突合等の自動化を行い、想定される作業時間を約 8 割削減しました。

1. 背景

三次市様では、市民が新型コロナワクチンを接種した後、医療機関から届いた「新型コロナワクチン接種記録」と「ワクチン接種記録システム（以下 VRS）」のデータを職員が照合し、VRS の登録内容に誤りがないか目視で確認する必要性がありました。「新型コロナワクチン接種記録」は 5 万件以上あり、正確性が要求される確認作業は、職員の大きな負担になることが想定されていました。

そこで、作業の迅速化・正確性と職員の負担軽減を目的に、RPA・AI-OCR を活用し、業務の一部自動化を実現しました。（図 1）

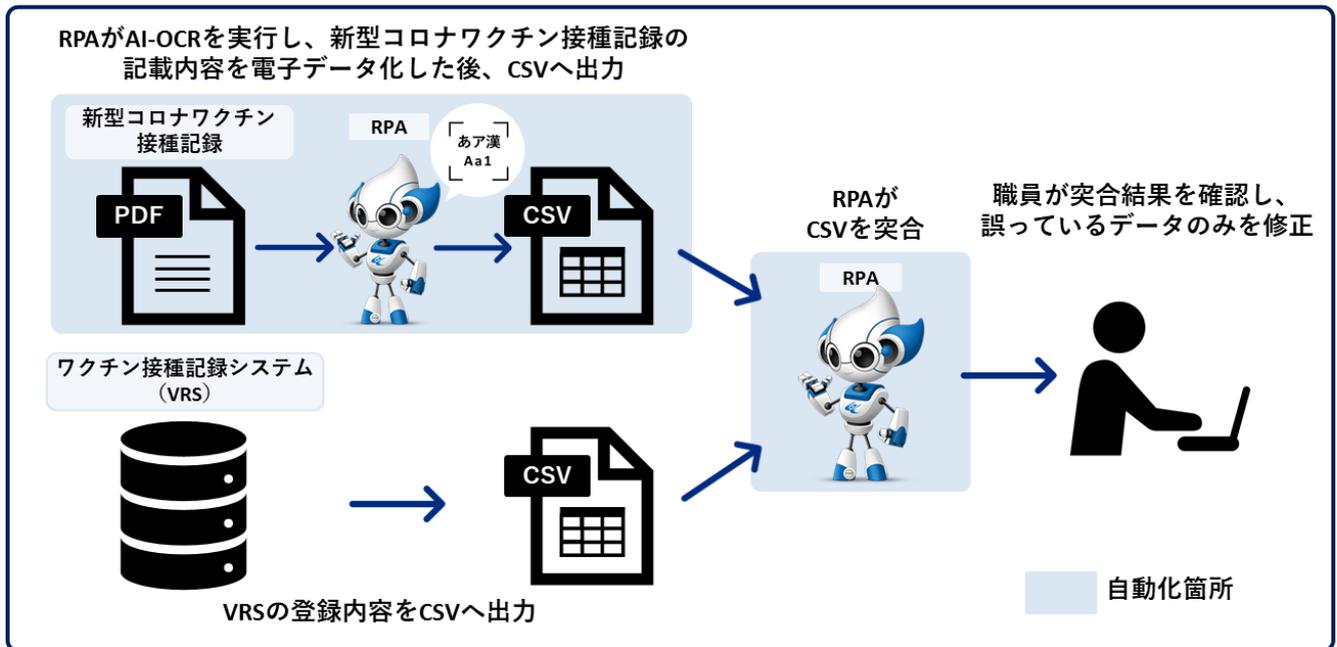
2. RPA・AI-OCR 適用業務の概要と導入効果

- (1) 適用業務：「新型コロナワクチン接種記録」確認業務
- (2) 適用件数：約 5.5 万件
- (3) 適用期間：20 日（2021 年 12 月 1 日～2021 年 12 月 20 日）
- (4) 職員対応件数：約 1 万件（目視確認・修正入力件数）
- (5) 導入効果：削減時間約 744 時間（81.1%減）
- (6) その他の導入効果：作業の迅速化・正確性と職員の負担軽減に加え、新型コロナワクチン接種証明書アプリの利用開始日（2021 年 12 月 20 日）までに全件の確認作業を完了。

3. 今後の展望

三次市様は、今後も RPA・AI-OCR の適用業務拡大を予定されています。当社は、引き続き三次市様の更なる業務自動化をご支援していくとともに、これまでの RPA や AI 活用の知見を活かし、多くのお客様の DX 推進を加速してまいります。

(図1) RPA・AI-OCR適用後の「新型コロナワクチン接種記録」確認業務フロー



(注1) Seisho について

京都電子計算株式会社が提供する AI-OCR サービス。文字認識エンジンに株式会社 CogentLabs が開発・提供する高精度の手書き・活字対応エンジン「Tegaki」を採用し、容易な帳票設計とセキュリティを提供。

製品紹介ページ：<https://ai-service.enecom.jp/seisho/>

(注2) EneRobo について

当社が提供する RPA サービス。

国内導入実績トップクラスの BizRobo! (ビズロボ) の OEM 製品。

製品紹介ページ：<https://enerobo.enecom.jp/>

以上

本件に関するお問い合わせは、下記までお願いします。
株式会社エネルギア・コミュニケーションズ
ソリューション事業本部 DX イノベーションサクセス部 [田崎・角屋敷]
TEL : 050-8201-3049 MAIL : officedx@enecom.co.jp
URL : <https://officedx.enecom.jp/>